

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成23年8月末現在)

企業数	30社
雇用者数	962名

株式会社もしもしホットライン

～チームワークのよさが業務品質向上の鍵～



株式会社もしもしホットライン 名護センター

比嘉寛典さん 浦崎織乃さん

入社4年目 入社2年目
スーパーバイザー オペレーター

家電製品が大好きな城区出身の比嘉さんと、職場仲間との飲みニケーションが楽しいと話す、城区出身の浦崎さん。職場内はいつも笑顔で溢れています。



明るくいいきいきと働く名護センターのみなさん



ビーチで楽しむ名護センターのみなさん

株式会社もしもしホットライン

【本社】東京都渋谷区代々木 2-6-5
【名護センター】
名護市大中1丁目19番24号
【設立】2002年10月15日
【サービスの領域】
・コールセンター構築・運営
・バックオフィス/事務センター構築・運営
おお客様の声分析(VOC)
・コールセンターデータの活用
【ホームページ】
<http://www.moshimoshi.co.jp>

※スーパーバイザーとは・・・
コールセンター業界では一般に、多くのオペレーターの勤怠管理や研修・教育、さらにはサービスの品質管理など幅広い業務を担当する管理職のことをスーパーバイザーと呼んでいます。



NDAのホームページが新しくなりました!
URL: <http://nda.city.nago.okinawa.jp/>
名護市金融・情報特区推進室
URL: <http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html>
名護市地域 SNS
URL: <http://sns.city.nago.okinawa.jp/ndakouhou>
ご意見・ご感想をお寄せください。
金融・情報特区推進室/特定非営利活動法人 NDA
【お問合せ先】
電話: 55-3333 / FAX: 55-3332
mail: info-nda@nda.city.nago.okinawa.jp

今回の「特区で働こう!」は、今月15日で創設10周年を迎える、株式会社もしもしホットライン名護センターの比嘉寛典さん、浦崎織乃さんにお話を伺いました。

名護センターは名護市産業支援センター内にあり、かんぽ生命保険の問合せ業務を行うコールセンターとして、全国各地からのお問い合わせに対応しています。

初めに、入社のかきつけを教えてください。

(浦崎さん以下(浦)名護で働くのは現在の会社が初めてで、これまでは東京の商社に勤めていました。兄からの紹介で、都市部で働くことと変わらない職場が名護にもあることを知り、そこに魅力を感じ入社しました。

(比嘉さん以下(比)以前は配達業をしていましたが、転職を機にコールセンター業務にチャレンジしてみました。

ようという思いから、入社しました。

担当している業務内容を教えてください。

(浦)私は保険商品についてなど、お客さまからの様々なお問い合わせに対応するオペレーター業務をしています。お問い合わせの内容にもよりますが、一日に30から40件の問合せに対応しています。繁忙期には、一日70件にも上るお問い合わせに対応しています。

(比)オペレーターからチームリーダーを経て、現在はスーパーバイザーとして、30名程のチームを管理しています。業務にあたるオペレーターの対応フォローや、通話ログの聴き起こしによる対応の振り返りとアドバイス、そこから出た課題を克服するための社内研修を行うなど、コール業務の品質とお客さま満足度の向上に繋がっていくための管理を行っています。

業務上での難しい点は何ですか。

(浦)コール業務は、お客さまの顔が見えず声だけで対応します。お客さまが何を要望しているのかわかりませんが、正確に把握するよう心がけています。また、言葉遣いや話し方に配慮したり、全国各地からのお問い合わせを受けますので、言葉のアクセントが聞き取りづらいときなどがあります。しかし、先輩や上司がフォローしてくれまので、安心して業務を行うことが出来ます。

(比)スーパーバイザーの業務では、オペレーターとお客さまの間に立ち、問題解決をすることがあります。その際は、お客さまをお待たせしながら、短時間で状況を把握し電話を引き継ぐ必要があります。お待ちいただいているお客さまへの緊張感も非常に大きいですし、何度も同じ質問をすることのないよう正確に問題を把握し迅速に解決まで導くことが難しいです。

仕事のやりがいはどういう点ですか。

(お二人とも)お客さまからの感謝やお礼の言葉を頂いた時の充実感です。私たちが初めは保険について素人だったので、保険について分からないお客さまからのお問い合わせがあると、気持ちが悪く感じることがあったり、なんとか力になりたいと思います。そのため、お客さまの抱えているいろいろな問題を解決することができたときの喜びがやりがいとなっています。

日ごろ心掛けている点や職場の好きな点は何ですか。

(浦)相手の気持ちになり、話を聴く、話をするよう心がけています。職場の好きな点は、名護センターの特徴なのですが、とにかく社員の仲が良く、年齢層も幅広く、仕事のことでなく、プライベートのことも相談できることです。またオフィス

内には、社員の子どもたちが書いた絵などが壁に飾ってあり、アットホームな環境が気に入っています。

(比)お客さまやチーム内でコミュニケーションを取る際に、相手が何を必要としているのかを推察しながら、迅速にキャッチできるような心がけています。職場の好きな点は、私も浦崎さん同様、社員同士の仲がよい点や家族ぐるみで会社のイベントに参加する環境があり、働くみんながいきいきとしていられることです。地域のハリー大会に参加したり、家族も参加できる社内スポーツ大会を行うなど、イベント好きな社員が多く交流が盛んです。

今後の目標を教えてください。

(浦)名護センターでは業務向上の一環として、月一で表彰される「社内コンテスト」があります。その中でチーム賞を取ることがあります。受賞すると、会社からチーム全員に食事(デザート付)が付与され、ひいては品質向上に繋がると考えています。

(比)名護センター全体の目標になりますが、今年度は10周年という節目を迎え、これまで以上に品質に重点を置いた目標を掲げています。お客さま対応における、正確性・親和性という点を強化し、より信頼の高い、お客さまに親しみを持ってもらえるコールセンターを目指していきたいと考えています。

次回はいくつかのフェスタ2011の取り組みをご紹介します。

特区で働こう! 久辺テクノフェスタ 2011

～金融・IT国際みらい都市に向けて～



金融・情報特区の企業と雇用 平成23年9月末現在	
🏢 企業数	30社
👤 雇用者数	966名



今回の「特区で働こう」は、今年23日(勤労感謝の日)に開催予定の「久辺テクノフェスタ2011」をご紹介します。
久辺テクノフェスタは、今回で3回目となり、名護市久辺地区に集積する産官学と地域との交流を図っています。今年も地元である辺野古商工会と企業2社(株)ティードワークス、(株)PUREWORKSが初参加と、年々参加団体が増え盛り上がりを見せているイベントです。

開催の背景には

名護市が金融・情報特区の指定を受けてから、今年で10年目という節目を迎えます。金融・情報産業の集積地として市内には、現在31社の企業が立地しています。その中でも中核拠点地区である名護市久辺地区においては、名護市マルチメディア館、国際海洋環境情報センター、みらい1・2・3号館、といった企業の集積基盤となる施設や高等教育機関である国立沖縄工業高等専門学校、人材育成機関である沖縄北部雇用能力開発総合センターが整備されてきました。近年では、隣村である宜野座村のサーバーファームとCEATEC JAPANへの共同出展や人材育成の連携など、共同して北部地域の活性化を推進しています。

テクノフェスタ開催の目的

地域の人々に金融・情報通信関連企業に向けた施設が豊原地区にあり、多くの企業や研究機関が地域に立地していることを知ってもらい、興味を持ってもらうこと、久辺地区に集う産官学と地域の連携を深めることが目的となっています。

イベントへの意気込み

『久辺テクノフェスタ2011』を多くの市民へ参加を呼び掛けるにあたり、初出展となる株式会社ティードワークス(名護市マルチメディア館内)の金城将吾さんにイベントへの意気込みを伺いました。
(金城さん)「(株)ティードワークスは、モバイルコンテンツ事業(マンガをケータイ電話で閲覧するための加工・編集や、ケータイゲーム関連の制作)と、3Dコンテンツ事業(平面画像を立体画像に変換する加工・編集や、3Dレンヂキュラー(※補)制作・販売)を行っている会社です。今回のイベントでは、

ケータイマンガの展示や体験をはじめ、3D映像試写会やその仕組みと魅力を紹介するための説明もを行います。また、縦横1mの3Dパネルなども展示して、テクノフェスタで見られない3D作品を多数用意しています。大人から子どもまでご家族みんなが楽しめるようなイベントを目指して取り組んでいますので、ぜひ多くの方々に来場いただき、楽しみながら弊社の理解を深めてもらえたら嬉しいですしと話してくれました。



株式会社ティードワークス 3Dコンテンツ制作チームリーダー兼プロデューサー 金城将吾さん
「普段なかなか見られない作品を披露予定。多くの市民の方に作品を見てほしい」と話す金城さん。

また、実行委員会においてもイベントウェブサイトを立ち上げ、多くの方々に知っていただくために、事前にイベントを周知する活動も積極的に行っています。

同イベントは、午前9時45分から名護市マルチメディア館前にてオープニングセレモニーも行われます。今年も、名護桜太鼓のみなさんも参加し、華やかな幕開けを予定しています。ぜひ、知人やご近所の皆様お誘いあわせのうえ、ご来場ください。多くの皆様のご来場をお待ちしています。
※イベント詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

(補)レンヂキュラーとは・・・ 目の錯覚を利用して、画像に奥行や動きの効果を与えることが出来るレンズのこと。

最先端IT・エレクトロニクス展 『CEATEC JAPAN 2011』 において金融・情報特区をアピール

千葉県の幕張メッセで、10月4日～8日(5日間)に開催されたアジア最大級のIT・エレクトロニクス総合展「シーテック ジャパン 2011」において、情報特区である名護市と宜野座村が共同で出展し、アジア圏の中心地としての地理的優位性や沖縄県北部の名護市・宜野座村の企業集積による産業振興や街づくりの取り組みをPRしてきました。自然豊かなんばるでの優れたビジネス・生活環境を、DVD・パネル・パンフレットで紹介し、企業誘致を行ってきました。連日、多くの来場者が詰めかけ、合同ブースには約2000名の方が足を運んでくださいました。



CEATEC JAPAN2011 で名護市のビジネス環境を紹介しました。

久辺テクノフェスタ 2011

【開催日時】 2011年11月23日
(勤労感謝の日)
午前10時～午後5時
オープニングセレモニー 9:45～

- 【開催場所】
- ◆国際海洋環境情報センター
 - ◆沖縄北部雇用能力開発総合センター
 - ◆名護市マルチメディア館
 - ◆みらい1・2・3号館
 - ◆豊原地区会館
 - ◆宜野座ITオペレーションパーク
- ホームページ
<http://nda.city.nago.okinawa.jp/kube/>

ご意見・ご感想をお寄せください。
金融・情報特区推進室/特定非営利活動法人 NDA
【お問合せ先】
電話：55-3333 / FAX：55-3332
mail：info-nda@nda.city.nago.okinawa.jp

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
平成23年10月末現在

企業数 32社
雇用者数 950名

クオリサイトテクノロジーズ株式会社 ～沖縄IT業界の発展に貢献するプロフェッショナル～



池原 伸さん
管理部主任
入社1年目
うるま市出身
学生へのキャリア
カウンセリングを研
究中。人の成長が楽
しみだと話す。

宮島 良太さん
DC 事業部オペレーター
入社2年目
名護市出身
趣味はサッカー。
社内のチームで他企
業と交流試合も行っ
ている。



久辺中学校でのキャリア教育の様子

クオリサイトテクノロジーズ株式会社

【本社】名護市豊原 195-3 みらい2号館
【代表取締役社長】小森 彦太郎
【設立】2003年11月7日
【主な事業】

- Java に特化したシステム開発サービス
- データセンター運営と維持に付帯するサービス

【従業員数】
121名 (2011年4月現在)
【ホームページ】
<http://www.qualysite.co.jp>



みらい2号館

WEBでも情報発信しています!

- NDAホームページ
<http://nda.city.nago.okinawa.jp/>
- 名護市金融・情報特区推進室
<http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html>
- 名護市地域SNS
<http://sns.city.nago.okinawa.jp/u/ndakouhou/>

ご意見・ご感想をお寄せください。

【お問合せ先】

金融・情報特区推進室/特定非営利活動法人 NDA
電話番号: 55-3333 / FAX: 55-3332
メールアドレス: info-nda@nda.city.nago.okinawa

今回の「特区で働く」ことは、名護から沖縄のIT業界をリードするプロフェッショナル集団を目指し、日々成長を続けるクオリサイトテクノロジーズ株式会社の池原伸さん、宮島良太さんをご紹介します。

初めに、入社へのきっかけを教えてください。

(池原さん以下(池)以前、コールセンターでチームリーダーとして仕事をしていたのですが、そのときに現在の会社に声をかけてもらったのがきっかけでした。私の「沖縄県の発展に貢献したい」という思いと、弊社の経営理念の「沖縄県情報産業の発展への貢献」が重なり入社を決めました。

(宮島さん以下(宮)きっかけは、同社で働いている友人からの紹介です。地元において首都圏と変わらない環境で仕事ができることを知り、自分もこの会社で働いてみたいと思いエントリーしました。以前は、医療事務をしていました。

担当している業務内容を教えてください。

(池)管理部門で、主に新卒採用を担当しています。また、社内研修の企画・実施や、会社規定をわかりやすく社員に説明する講習会のサポートなども行っています。働きやすい職場づくりは管理部門の仕事の一つです。その他、社会貢献活動の一環として名護市と協力して周辺の小中学校のキャリア教育を積極的に実施しています。

(宮)IDC(インテグレートド・データセンター)事業部でオペレーター業務を行っています。お

客様(本土企業からお預かりしている大変重要なデータを保守・管理しています。数分でも止まると業務に支障が出るので24時間365日動きを止めないよう未然に防止策を講じ、万が一の場合でも、迅速に正常な状態へ復旧できるように万全の態勢を取ることがオペレーターの仕事です。

以前の職種と異なりますが、仕事をしてみてどうですか。

(池)新卒採用という仕事柄、学生や先生方と接する機会も多くとても勉強になります。また職場の雰囲気も明るく前向きに仕事ができる環境がそろうと感じています。

(宮)未経験からのスタートでしたが、半年間の研修で基礎を学びました。実際の業務では先輩と一緒にチームを組んで仕事をします。わからないところを教わりながら業務を覚えることができました。先輩のように早くプロフェッショナルになれるように日々頑張っています。

現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

(池)多くの学生や先生方と出会うことに魅力を感じます。働くことや生き方について皆さんいろいろお互いの意識が高まる瞬間がすきです。

(宮)データセンターの業務は、常に先を読んで動かなければいけない仕事です。自分なりに考えて行動し、業務を行っていくところにやりがいを感じています。

会社の社会貢献活動としての取り組みを教えてください。

(池)先月、久辺中学校の1年生を対象に、簡単なプログラミングの授業と、社会人の先輩という立場で私の中学時代の体験を交えた講話を行いました。キャリア教育を通して、私たちの会社や沖縄の情報産業について一人でも多くの生徒が興味を持ち、今後の発展に繋がってくれたらと思います。また、その他にも大学での講義を行うなど様々な活動にも取り組んでいます。

御社の求める人物像とは。

(池)東京、大阪など首都圏の企業と協業する為には高い技術力が求められます。「プロフェッショナル」を目指す強い意志を持ち常に仕事の質を高めていける人物。そういった人を求めています。

最後に、お一人の今後の目標を教えてください。

(池)学生から信頼される採用担当者になりたいですね。多くはいるのに働くことの楽しさや、世の中にはいろいろな考え方があることを知ってもらいたいのです。

(宮)色々な障害(トラブル)にも柔軟に対応し、安定した業務が行えるようになること。そして視野を広げてリーダーになることが目標です。まだまだ未熟ですが初心を忘れずにいろいろなことに積極的にチャレンジしていけたらと思います。

金融・情報特区の企業と雇用
平成23年11月末現在
企業数 32社
雇用者数 942名

特区で働こう!

～誠心誠意を届ける～ 株式会社PUREWORKS沖縄

株式会社 PUREWORKS 代表取締役
古尾谷宗一郎 氏



今回の「特区で働こう」は、昨年6月に名護市マルチメディア館に入居しました。「株式会社PUREWORKS沖縄」をご紹介します。
貴社は、CG・コンピュータ・グラフィック技術やIT技術を駆使し、私たちが日頃何気なく目している、テレビ番組の3DCG映像や大手企業のホームページ制作ならびにシステムの開発・運営などを主に手がける会社です。詳しいお話を、株式会社PUREWORKS 代表取締役の古尾谷宗一郎さんに伺いました。

名護市に進出した理由、良かった点は?

環境面として、「震災などが起きにくい場所へオフィス機能を分散させたかったこと」、「各種制作作業に適した設備を首都圏などに比べコストを抑えることができること」が挙げられます。また、人材面としては、地域の人材育成制度があり、好奇心旺盛で優秀な求職者が多く人材募集に困らないことが決め手でした。
進出して良かった点は、想像以上に優れた人材が多く、都市部でも数十人に1人という優れた人材を短期間で2名雇い入れることが出来ました。その結果、経営の見通しを早く立てることができ、次のステップに向け、日々忙しいながらも笑顔が絶えない職場となっております。

この仕事の魅力は?

大手企業のウェブサイトやテレビドラマの映像など、より多くの方々に見て・使ってもらえるものを制作させて頂くことが最大の魅力です。弊社をご利用いただいているお客様から、「売上が伸びた、良い人材が募集できた、ウェブサイトのアクセス率が上がった、自社サービスのユーザーが増えた、テレビであの作品見たよ」などの声をかけて頂くことが、明日への活力につながっています。

会社の理念は?

経営理念は、「誠心誠意な姿勢で少しの妥協をすることも無く、お客様の笑顔が見られるサービス

を常に提供すること」です。「これくらいで仕様・要求は満たしているだろう」ではなく、「まだ何かやれることはないか」、「より良いやり方は無いのか」などを、社員全員が自然に考えて様々な角度から検証を行い、より高品質な制作物を短い時間で提供できるように、日々心がけて仕事をしています。

地域貢献活動なども活発ですが、御社の取組は?

昨年6月にマルチメディア館に入居させて頂き、立地する久辺地区の住民・立地企業・組織団体・学生の皆様と「TEAM豊原」の一員となることが出来ましたので、横のつながりの強化に寄与したいと思っています。まずは、より優秀な学生を創出できるような人材育成で地域連携を実践するため、沖縄工業高等専門学校よりインターン生の受け入れを行ったり、四年生向けの授業で、弊社の得意とするCG・映像制作の講師を派遣するなど、人材育成に注力しています。また、昨年の久辺テクノフェスタにてホームページ制作体験ブースを出展し、多くの地域の方々に弊社を紹介することができました。

御社の求める人物像は?

自分の行動を客観的に見ることができ、置かれた状況を冷静に分析し、常に前向きに最善の行動を能動的にとれる人材を求めています。人間性も必ず失敗をします。その失敗を都度反省し、改善点を洗い出し、そのために努力を惜しまず全力で取りかかれる人間は必ず大成します。それがPUREWORKSグループの社員になるために唯一必要な条件です。

今後の目標は?

都市部の制作会社に負けない開発力を持つことがこころ、2年の目標です。人口の多い都市部には技術力の高い人材が多いのは当然ですが、都市部に比べ人口の少ない沖縄県北部の小さな企業が、都市部の制作会社を凌駕した力を持つことを本気で目指しています。そして次の2、3年では、段階的に企画・営業面のノウハウも身に付け、県内の制作案件の発掘及び様々な事業の企画立案など総合的な制作が出来る、経営的にも自立した企業を目指していきたいです。

ありがとうございました。



久辺テクノフェスタ2011でのホームページ制作体験の様子



PUREWORKS 沖縄 作業風景

株式会社PUREWORKS沖縄

【本社】 名護市字豊原 224 番地 3
名護市マルチメディア館 205 号室
【代表取締役社長】 石井 敦子
【業務開始】 2011年6月1日
【主な事業】 ■インターネットサービス並びにWEBコンテンツの企画、制作、運営、コンサルティング
■各種物品の輸出入販売及び仲介
■システム・アプリケーションの設計、開発、販売並びにコンサルティング
【従業員数】 2名 (2011年11月現在)
【ホームページ】 <http://www.pureworks.co.jp/>
(只今リニューアル中)

久辺テクノフェスタ2011

約2000名の来場がありました。皆様のご来場、ご協力下さった企業・団体の皆様、ありがとうございました。

ご意見・ご感想をお寄せください。

【お問合せ先】金融・情報特区推進室 / 特定非営利活動法人 NDA

電話番号: 55-3333 / FAX: 55-3332 メールアドレス: info-nda@nda.city.nago.okinawa.jp

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
平成23年12月末現在

🏢	企業数	31社
👤	雇用者数	909名

亜細亜印刷株式会社 ～長野と連携した沖縄からの挑戦!～

亜細亜印刷株式会社 沖縄事業部 開所式
平成23年12月19日

亜細亜印刷株式会社
代表取締役社長 藤森 英夫 様

開所式では、社長あいさつのほか、「長野」・「東京」・「沖縄」の3拠点をネットワークで結んでいる沖縄事業部のサーバー電源投入や新たに採用された社員(3名)のあいさつなどが行われました。



開所式の模様



業務風景

亜細亜印刷株式会社

【本社】長野県長野市三輪荒屋 1154 番地

【設立】昭和 38 年

【主な事業】

- 印刷に関する一切の業務(雑誌書籍印刷 / 商業美術印刷等)
- 印刷データからデータベース構築 / 関連ソフトウェア開発
- 電子書籍制作

【従業員数】 75 名

【ホームページ】

<http://www.asia-p.co.jp/>

WEBでも情報発信しています!

■NDAホームページ

<http://nda.city.nago.okinawa.jp/>

■名護市金融・情報特区推進室

<http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html>

■名護市地域SNS

<http://sns.city.nago.okinawa.jp/u/ndakouhou/>

ご意見・ご感想をお寄せください。

【お問合せ先】

金融・情報特区推進室 / 特定非営利活動法人 NDA

電話番号: 55-3333 / FAX: 55-3332

メールアドレス: info-nda@nda.city.nago.okinawa

今月の「特区で働こう」では、平成23年10月に名護市マルチメディア館に同居した亜細亜印刷株式会社沖縄事業部取材します。亜細亜印刷株式会社は、長野県に本社があり書籍の印刷や本の制作を主にしている企業です。創業約50年を迎え、昨年、イギリスで開催された第41回技能五輪国際大会のオフセット印刷職種の日代表を輩出し、見事、金メダルを獲得するなど、人材の育成にも力を入れています。

沖縄事業部では、ワード等でつくられた原稿データに文字サイズや文字種等の編集情報付与作業をほどこし、書籍・出版物の文章を作成するための拠点です。

名護に進出した理由

編集作業の生産性を向上させる目的で、これまでの編集工程を改善する必要があり、その業務を行う拠点を探していました。沖縄県内の他の市町村も視察しましたが、名護市は、他の地域に比べて住環境や労働環境がよいと感じたからです。また、将来的に電子書籍制作やウェブデザイン事業への展開も見込める

だけでなく、バックアップのサーバーを沖縄にも設置することで、より強固な災害対策が見込まれる点も大きな要因となりました。

研修のスケジュールについて

名護市に10月に進出してから、事務所の開所や社員採用に向けた準備を急ピッチで行いました。12月には、現地採用として3名を雇用することができ、12月19日には、沖縄事業部の開所式を執り行いました。亜細亜印刷は、「ルールを守りお互いを尊重した企業風土」を企業理念とし、社員の意識合わせを行う目的で、企業の信条や行動を簡潔に記した「クレド」の説明や会社を理解して頂くための会社説明を十分に行っています。

その上で、長野本社の電算部社員による社内研修を沖縄事業部で行い、編集に必要なスキルの習得をしてもらいました。また、1月には、実際の印刷工程を学ぶために、長野本社での研修を行っています。

社員の抱負について

今回、12月に現地採用された3名の社員に

抱負について尋ねてみました。(宮城太紀さん)まずは、業務知識をきちんと共有し、滞りなくこなせるように頑張りたい。

(山城祥集さん)沖縄事業部は少人数であるため、チームワークを大切にお互いに支え合って頑張っていきたい。

(与那嶺幸恵さん)将来的に、亜細亜印刷沖縄事業部が名護市マルチメディア館内にあることを多くの県内の人知っていたため、業務スキルを向上させ、地元に着いていきたい。

今後の事業展開について

まずは、沖縄事業部で求められている「編集作業」をきちんとこなせるようになることです。書籍の世界もデジタル化が進んでいます。そのため、デジタルのみで完結する書籍は、沖縄事業部のみで制作できるように、将来的には、全国のデジタル関連の書籍を沖縄から営業をかけて獲得できるように成長していくことが目標です。

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
平成24年1月末現在

企業数	31社
雇用者数	903名

株式会社 ぷらど

～オープニングスタッフ募集中!～



株式会社 ぷらど

代表取締役社長 石井 愛二郎 様

白と黒をベースとした新しいオフィスで、業務をスタートしています。コールセンターとしては、まだ小さな規模ですが、みんなで仲よく業務を行っています。



開所式の模様

株式会社 ぷらど

【本社】大阪市平野区平野南 1-5-7

【名護コールセンター】

名護市豊原 224-3 (207号室)

【主な事業】

- ・コールセンターの運営及びその他運営の受託業務

【代表取締役】 石井 愛二郎

【従業員数】 10名

【ホームページ】

<http://plad.jp>

【連絡先】 TEL: 50-0194 FAX: 50-0210

WEBでも情報発信しています!

■NDAホームページ

<http://nda.city.nago.okinawa.jp/>

■名護市金融・情報特区推進室

<http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html>

■名護市地域SNS

<http://sns.city.nago.okinawa.jp/u/ndakouhou/>

ご意見・ご感想をお寄せください。

【お問合せ先】

金融・情報特区推進室 / 特定非営利活動法人

電話番号: 55-3333 / FAX: 55-3332

メールアドレス: info-nda@nda.city.nago.okinawa

名護に進出した理由

(石井)名護市に進出するまでに、約1年の歳月をかけて、進出先などを検討していました。沖縄県内には、多くのコールセンターが進出していることからわかるように、コールセンターの業種に対する人材の育成などが、大阪とは比較できないほど充実しています。そのため、継続的に質の高い人材の雇用ができると思った点が大きな理由です。

業務内容について

(尾関)名護コールセンターでは、全国紙の試し配達をお勧めする架電業務を関東地区をかわきりに行い、将来的には、九州地区までエリアを広げる予定で事業を進めています。

稼働時間帯は、毎日朝9時から夜9時までの間なので、シフト制で運営を行っています。お客様とお話しする際は、パソコンの画面に話す内容が表示され、操作はマウスの操作だけなので、コンピュータの操作が苦手な人でも短時間で業務を行っています。ただけるようなシステムになっています。

求める人材について

(石井)コールセンターの業務は、お客様とお話しするファーストコンタクトの役割

職場環境について

(石井)名護コールセンターは、開所して間もないですが、コールセンター業務を行なうにあたり、社員が永く従事できる体制や仕組みづくりを絶えず模索し、明るくて活気のある新しいコールセンターづくりを目指しています。

を担っています。そのため、性格が明るくて元気な方であれば、コールセンターの経験がなくても構いません。また、お電話でお客様とお話ししている最中で、返事や反応によってキーボードを選択すると、次に何を言うのかがパソコンの画面に表示されるといった、CTIシステムを採用しておりますので、未経験の方でも簡単に始められます。「ぷらど」は「プランニング・ドリム」の略で、「夢を企画する会社」をイメージしています。現在も引き続き、求人募集していますので、一緒に楽しく頑張れる方お待ちいたしております。どのようなコールセンターなのか、事務所内の見学も大歓迎です。